

PIERIA 美術イタリア語 基礎講座 ステップ 3

【目次】

課	内容	コラム
1	1)比較級 2)最上級 3)前置詞	フェラーラのルネサンスとエステ家
2	1)再帰動詞 2)非人称動詞と非人称構文	マントヴァに残る2枚のだまし絵
3	1)関係代名詞 2)関係代名詞と同様の働きをするもの	ラヴェンナの貴重なモザイク画
4	1)半過去 2)大過去	ボローニャとジョルジョ・モランディ
5	1)未来 2)前過去	マテーラの洞窟教会
6	1)命令法 2)前置詞	シチリアの民俗芸術

【この本の使い方】

「一歩進んで」コーナーとは？

イタリア語の文法には例外が多く、初めて学ぶ人はそのせいで「イタリア語は難しい」「文法は嫌いだ」と感じてしまうようです。なるべくストレスなく学習を進めるため、本テキストでは細かな文法規則や語学のトリビアを、この表のような「一歩進んで」というコーナーに集めました。

初めてイタリア語を学ぶ方は、まずは「一歩進んで」を飛ばして学習してみてください。基本をしっかり理解したうえで「一歩進んで」を読むと、きっと目からうろこ。楽しいイタリア語の世界が広がるはずです。

【コラム：イタリア各地の da vedere!】

美術イタリア語 基礎講座 ステップ 3 のコラムでは、イタリア各地の da vedere（見ておくべきもの）をご紹介します。ご旅行の計画を立てるときに、参考にさせていただければと思います。比較的小さな町、そこに行かなくては見られないアートがある町を中心に選びました。

PIERIA 美術イタリア語 基礎講座 ステップ3
第2課

2.1. 再帰動詞

2.1.1. 再帰動詞の基本の使い方—再帰的用法—

今日は日本語にもない英語にもない**再帰動詞**を勉強します。
まずは次の例文を見てください。

Taro colpisce Hanako.
(タロウはハナコを叩く)

この場合、主語の「タロウ」が行う「叩く」という行為の対象は「ハナコ」です。この「行為の対象」、つまり「ハナコ」にあたるのが**目的語**でした。ここまではすでに勉強しましたね。

では再帰動詞について説明します。

タロウがある失敗をして「いっけね」と自分を叩いたとします。こうした、**目的語が主語と同じになる行為**、つまり**動作の結果が自分に返ってくる行為**。これを**再帰動詞**で表現します。

再帰動詞は、**再帰代名詞 (=主語と同じ人・物を指す目的語)**と**通常の動詞**の2つの要素で成り立ちっています。

Taro **si** colpisce.
(タロウは自分を叩く)

siは再帰代名詞 (主語と同じ人を表す目的語)、**colpisce**は通常の動詞。

(略)

Esercizi 2

【1】 次の動詞を活用させ、日本語に訳しなさい。指示があれば従うこと。

- 1) Il lunedì tanti musei sono chiusi e (annoarsi : noi を主語に) .
- 2) Giulietta (affacciarsi) alla finestra.

(略)

【2】 日本語に訳しなさい。

- 1) Come si può interpretare questo dipinto?
- 2) La tecnica tradizionale si tramanda di maestro in allievi.
- 3) La pittura toscana si è sviluppata in base allo stile di Giotto.

(略)

【3】 伊訳しなさい。

- 1) ラファエロのこの絵は『ラ・フォルナリーナ』といます。
- 2) わたしは上手ではありませんが、絵を描いて楽しんでいます。
- 3) イタリア語で「ルネサンス (Renaissance)」は何といますか？

(略)

【コラム 2 : イタリア各地の da vedere! マントヴァに残る 2 枚のだまし絵】

マントヴァ (Mantova) はヴェローナの南、パルマの北に位置し、ロンバルディア州に属します。ヴェローナからは電車で 30 分程度。三方を湖に囲まれた大変面白い地形です。

15～16 世紀にかけこの町でルネサンス文化を育んだのがゴンザーガ家 (Gonzaga) でした。ドゥカーレ宮殿 (Palazzo Ducale) というゴンザーガ家の宮殿とテ離宮 (Palazzo Te) という夏の宮殿には、それぞれとても面白いだまし絵 (trompe-l'œil) が残されています。

まずは、ドゥカーレ宮殿にあるマンテーニャ (Mantegna) の壁画からご紹介します。

(略)